

2019年1月7日

居宅介護支援事業所
管理責任者 様

修文大学看護学部看護学科
研究責任者 樋田小百合

高齢者のエンド・オブ・ライフケアに関する研究協力の御願い

謹啓

時下ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。平素より、高齢者ケアにご尽力いただき、誠にありがとうございます。私たちは、高齢者の医療福祉の質の向上をめざし、研究を進めており、大学等で学生への教育とともに現場のケア実践者とともに高齢者の方々のためにお役にたきたいと日頃から深く認識しているところです。

多死社会は到来しており、高齢者施設においても看取りケア加算を認め、看取りの場の多様化が進んでいます。しかし、高齢者施設での看取りの現状としてDNAR（Do Not Attempt Resuscitation、心肺蘇生を希望しない）が明記されているにもかかわらず医療機関への救急搬送されるケースも少なくありません。また、急性期対応の必要性から、望まれない人工呼吸器治療や効果の少ない心肺蘇生術が行われる場合があります。患者にとって無益な治療での負担があり、尊厳ある生活との乖離にて大きな課題となっています。本研究は、高齢者に対し、より良いエンド・オブ・ライフケアを実現するために、無益な治療を継続されることなく高齢者への負担を軽減し穏やかなその人らしい尊厳ある死の実現に向けて研究していきたいと考えております。

つきましては、下記のように研究を進めたくご多忙の中、恐縮ではございますが、主旨をご理解いただき、貴施設職員の方々のご協力を賜りたくここにご依頼申し上げます。

謹白

研究概要

1. 研究テーマ 高齢者のエンド・オブ・ライフケアに関する研究

2. 研究目的

本研究の目的は、専門職の尊厳ある死の認識を明らかにすることです。

3. 対象者

・貴事業所で、職員として従事されている介護支援専門員の方をお願いいたします。ここでの「職員」とは、正規の常勤でも、契約社員としての常勤、もしくは、非常勤の職員で、他の職種を兼務している職員でも結構です。経験年数は問いません。

4. 調査方法

調査方法は、質問紙調査となります。

- ① お手数ですが、調査対象となる方に、「専門職の尊厳ある死の認識に関する研究協力の御願い」「調査票」をお渡しくださいますようお願い致します。
- ② 調査票への記入には、おおよそ5～10分かかります。研究協力は、対象となる方の調査票の返信をもって本研究の同意が得られたものと致します。
- ③ 調査票は配布から1か月以内までに、下記アドレスまでご返信いただければ幸いです。

5. 調査期間

6. 倫理的配慮

1) 研究参加の自由

本研究に対する責任者様と調査対象様の同意は、調査対象者様からの直筆による質問紙への回答をもって“同意”とさせていただきます。本研究への参加・協力は、責任者様および対象者様の自由意思にもとづくもので、拒否しても職務上、もしくは個人生活などにおいて不利益を被ることは一切ございません。なお、質問紙は無記名のため個人を特定することはできません。質問紙が返信された後の同意の撤回は不可能となります。責任者様の判断で、調査協力を辞退される場合は、送信致しました説明書や調査票などはデータを削除していただきますようお願い申し上げます。

2) 研究に参加した場合に考えられる危険・不利益とその対応

説明書の閲読や質問紙への入力には、おおよそ 5~10 分の時間を必要とし、対象となる方々にとっては時間的拘束によって不快感が生じる可能性がございます。これについては、「看護職の尊厳ある死の認識に関する調査協力の御願い」に所用時間や協力に伴う手続きなどわかりやすく明記させていただきました。本研究へ参加または拒否をしても何ら不利益を被ることは一切ございません。

質問内容の中に、職務に関する内容を問うものが含まれているため、仕事に対する考え方や、今後の方向性、上司からの評価などを考える機会につながり、質問紙記載に対して不愉快やストレスなどの心理的負担が生じる可能性があります。これらの心理的負担につきましては、調査票は「無記名式」ですので、個人や事業所名が特定されることは一切ありません。また、受けとった回答内容を研究者以外が確認したり、関係者などに口外したりすることは一切ないことをお約束いたします。

3) 個人情報保護

対象者様が質問紙に回答した内容は、研究者以外の職員などの第三者が、それらの内容を知ることは一切なくプライバシーは固く守ること、データは匿名化して入力することをお約束いたします。

また研究のデータ及び結果は、研究の目的以外に使用いたしません。個人情報保護のため、研究結果を論文やその他の方法で公表する場合は、事業所と対象者の匿名性を必ず守ります。調査報告書においては、事業所が推測・特定されることのないよう、事業所の所在表記や事業所名のイニシャル表記はせず、また謝辞での事業所名表記はいたしません。「〇〇〇は、XX%でした」と、事実のみを成果として示していきます。

4) 資料保管

返信された質問紙は、暗証番号付きの USB に保管し、入力および分析したデータ類はパスワード・ロックをかけてディスク類に保存します。ディスク類は施錠付きの保管庫に保管し、得られたデータの扱いと保管庫の管理は、研究責任者のみが行うことをお約束いたします。なお、本研究により得られたデータは、研究終了後には、速やかにシュレッダーにかけ廃棄を行い、研究中・後を通して厳重な取り扱いに努めます。

5) 結果の伝え方と公表方法、および知的財産権の所有

研究結果は、学会や学術誌での発表やデータベース上で公表予定です。ご希望があれば、研究計画、研究結果について差し支えない範囲でみるすることができます。なお、研究により知的財産権が生じた場合には、研

究者と研究機関がその知的財産権を所有します。

6) 研究の問い合わせ、苦情の受付先

本研究中・終了後でも、本研究に関するご質問などが生じた場合はいつでも対応いたします。本研究に関する意見ご質問がございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、本調査の実施にあたっては、修文大学倫理委員会において承認を頂いております。

(承認番号：2018SR027)

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：修文大学看護学部看護学科 老年看護学領域

講師 樋田 小百合（といだ さゆり）

〒491-0938 愛知県一宮市日光町6番地1

電話 0586-45-2101（内線10404） FAX 0586-45-4410

メール：toida.s@shubun.ac.jp

共同研究者：中部学院大学大学院 特命教授 堅田 明義（かただ あきよし）